



国際交流の基礎づくり 「まちづくり」

国際交流は、互いの異なった文化や習慣を知り、価値観の違いを認め合うことから始まります。

そのためには、子供のころから外国人に接する機会をつくるなどして互いを理解し合う必要があります。サプテーマである「まちづくり」人づくり」という考え方のもと、次代を担う子供が主役の国際交流を積極的に推進します。

今年度上旬から外国語指導助手(ALT)を雇用し、学校教育や生涯学習を通じて、生きた外国語教育を推進します。

異文化を理解するため、海外派遣研修や文化・スポーツを通じた友好交流など、子供を対象にしたさまざまな施策を推進します。

このほか、市民が諸外国の多様な文化、生活様式などを体験できるように目的ごとの海外派遣研修を推進するとともに、国際的視野を広げるための各種講座、イベントを開催し、国際社会に対応できる人材の育成に努めます。

異文化を受け入れ認め合う「まちづくり」のために、「国際人をはぐくむまちづくり」の二つの取り組みが進められます。主要施策と主な提案例は次のとおりです。

《国際人をはぐくむまちづくり》

①小・中学校における国際理解教育の推進
教職員、児童生徒と外国人との交流事業や外国語学習など。

②語学指導体制の充実
外国語指導助手(ALT)の雇用、在住外国人による外国語教室の開催など。

③海外派遣研修の推進
市民海外派遣研修の実施や大人の留学希望者に対する市奨学制度の導入など。

④各種講座・講演会等の開催
外国語講座の開催、国際理解講演会の開催など。

《子供が主役のまちづくり》

①異文化理解事業の推進
学校の図書館を活用した外国図書等の設置や親子対象の外国語教室、外国人への日本語教室の開催など。

②友好交流の推進
青少年スポーツ交流事業の派遣と受け入れ、インターネット交流事業など。

③海外派遣研修の推進
青少年海外派遣研修事業(ホームステイ)やその受け入れ事業など。

白根市国際交流推進計画の概要

手と手をつなぐ 大きな輪

白根市のまちづくりの基本方針を定めた第四次白根市総合計画の一環として、白根市国際交流推進計画が策定されました。平成9年11月に計画の素案づくりが始められ、昨年5月には市民代表者らからなる15人の白根市国際交流推進計画策定委員会を設置し、検討を進めてきました。この3月にまとまった白根市国際交流推進計画では、「互いを認め合うまちづくり」「交流の基礎づくり」「白根の伝統・文化を見て触れられるまちづくり」「外国人にやさしいまちづくり」という4つの基本目標が掲げられています。

交流の基礎づくり

人と人との交流事業を通じて人材が育成されます。また、その体験を次世代に伝えていくことから交流の幅はどんどん広がっていきます。人づくりを推進するためには、母体となる組織が必要となります。そのため、国際交流に関わる個人や団体、企業、行政などの連絡協議会を設け、交流の輪を広げるための基礎づくりを推進します。さらに、国際交流活動推進のため、基金を創設し、活動を支援していきます。このほか、国際協力、経済交流支援活動を長期的な展望に立って支援していきます。

人材づくりと組織づくりのために「国際交流推進の組織化」の取り組みが進められます。主要施策と主な提案例は次のとおりです。

《国際交流推進の組織化》

①団体・組織の育成
個人や青年会議所、国際交流協会、風合戦協会等の民間団体、企業・行政等が集まって連絡協議会をつくる。ボランティア登録制度(通訳、翻訳、ホストファミリー事業協力者など)の実施、各種イベントや講座でのボランティア活動の支援など。

②基金の創設

国際交流活動推進のため、基金づくりの支援など。

③国際協力・経済交流支援活動
物的協力の推進：途上国・大災害を受けた都市への物資の提供、募金などさまざまな形で民間団体が行う活動への協力支援。
経済交流の推進：地場産業の活性化を図るため、県・企業・民間団体と連携し経済交流についての海外情報収集・提供活動や調査研究活動の推進。

